

学校 教育 目標	「よりよい自分をつくる大豆戸の子」 ~なかよくかしくたくましく 笑顔いっぱい大豆戸の子~					
	○自ら問題を発見し、主体的により良く解決する子ども (知)					
	○多様な意見や立場を尊重しながら自分も周りの人も大切にできる子ども (徳)					
	○運動の楽しさを味わい健やかな体を作る子ども (体)					
	○地域や横浜のために自分ができることを考え行動する子ども (公)					
学校 概要	創立	42 周年	学校長	田副 聡	副校長	萩原 英里
	2 学期制	一般学級： 18	個別支援学級： 5	児童生徒数： 570 人		
主な関係校：		大綱中学校 篠原中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	主体的に学ぼうとする力 人との関わりを豊かにする力 自他を認め合い意欲的に生きようとする力	大綱中学校 大豆戸小学校 大綱小学校 太尾小学校 菊名小学校

中期 取組 目標	○学校教育目標の実現に向けて、家庭、地域や社会との連携を深め、学校教育目標の実現を目指します。 ア) E I M活動を支え、子どもの主体的な活動を推進し、子ども一人ひとりが楽しく学校生活が送れるようにします。 イ) 「ひと・もの・こと」との豊かな関わりを大切にできる授業づくりを推進し、子どもの表現力を向上させます。 ウ) 体力の向上を図るとともに、健康な心身を作るための生活習慣が身につくようにします。 エ) 異学年交流や体験的な活動、感動体験を推進しながら、心豊かな心を育てます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて働く知	①重点研「算数」の取組、子どもが自ら「問い」を見出し、生き生きと取り組む授業づくりを切り口に、各教科・領域等においても、「よりよい自分を目指して、自ら取り組み、表現し、学び合う子」の育成に努めます。 ②月ごとの学習目標を設定し、子どもたちが意識して取り組めるようにすることで、主体的に学習に取り組む態度や「聴いてつなげる力」を計画的に育成していきます。
担当 教科研究部	③教科担任制等を活用し、多くの視点から子どものよさを認め、一人一人のよさを引き出し伸ばす支援・個に応じた支援の工夫に努めます。
豊かな心	①「キャリアパスポート」等の活用を通じ、児童が自己の在り方を自分自身との関わりで捉え、望ましい自己の形成を図れるようにします。 ②「特別活動」「たてわり活動」等の充実を通じ、児童が自己を人との関わりで捉え、望ましい人間関係の構築を図れるようにします。 ③地域の人や材との関わりを通じ、児童がまちの一員としての自分、国際社会に向き合う日本人としての自覚をもてるようにします。 ④校内環境の整備等に努め、児童が自己を生命や自然、美しいものとの関わりの中で捉えられるようにします。
担当 道徳研究部	
健やかな体	①運動委員会が中心となって取り組んでいる「まめどっ子体力UPプロジェクト」のマメソンを継続的に行う。また、ナワリンピックと称し、各学年ごとに短編の最高記録を掲出し、新記録が出た際には更新していく。年度をまたぎ、掲示することで大豆戸小の伝統としていく。子どもたちが自分で目標設定ができたり、体力の高まりを実感できたりするために、記録の蓄積をしていく。 ②体力テストの結果を基に、体力向上内容改善を図る。 ③学校保健委員会のテーマに向けた取組を全校で推進していく。
担当 体育研究部	
児童指導	①掃除と給食のスタンダードを確立し、「まめどっ子スタンダード」にまとめるとともに、全職員で共有して繋ぎ重ねる指導にあたる。 ②学級担任だけで課題解決にあたるのではなく、学年や専任と連携し解決にあたる。 ③学級担任ではなく学校担任の意識のもと、全職員で全児童の困り感に寄り添い支援に努める。 ④「まめどっ子スタンダード」が守られているか月末ごとに確認を行い、職員同士でも注意し合える関係を築いていく。
担当 児童指導部	
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを中心とした外部機関の有効かつ適切な活用を図る。(コンサルテーションの有効活用) ②配慮を要する児童の支援の在り方の確認及び全体共有を推進する。 ③保護者の願いに寄り添った個別の支援計画を作成する。 ④特別支援教室実践推進校として、特別支援教室を活用し、効果的な取組を進める。
担当 特別支援教育推進委員会	
地域連携・ 学校運営協議会	①横浜の時間の確立(地域の学習材と各教科を関連させたカリキュラムマネジメント) ②地域行事に積極的に参加し、まちを愛しまちに愛される子どもの育成を目指す。 ③地域とともに目指す子どもの姿の共有(学校運営協議会、まめどっ子サポーターズと連携を図る教育活動)
担当 学校運営協議会	
情報教育	①Googleアカウントとロイロノートの連携及び実践、推進を図る。 ②各教科とICTとの連携に努める。 ③情報教育推進委員会が中心となり、ICT活用研修を実施する。 ④長期欠席(及び休業)となった場合のICT(オンライン学習)のファシリテートを行う。
担当 情報教育推進委員会	
いじめへの対応	①いじめ防止や、早期発見のため、「お悩み相談シート」の確実な実施及び記録を活用する。 ②「お悩み相談シート」の活用及び結果の分析を行い、児童支援専任と連携をとり、チームで対応する。 ③人権教育の推進を図るとともに、いじめの早期発見・適切な早期対応に、いじめ防止対策委員会を活用し、組織として取り組む。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①メンター研修の充実とキャリアステージに応じた人材育成を推進する。 ②主任会、主幹会を人材育成の場としてとらえた学校経営を企画、運営する。 ③互いに補完し合う組織風土の醸成と各教師の資質向上を図る。 ④働き方改革による学校運営上の改善(授業時数及び学校行事の改善)を目指す。
担当 調整会・主任会・教務部	